



Close up

1

美しい知恵 人へ、地球へ。

# 「SAVE the BLUE プロジェクト」でアジアの海を守る

沖縄には世界一のサンゴ礁があるとされています。しかし、地球温暖化の影響により絶滅の危機にさらされているのが現状です。コーセーは未来に美しい自然を残すために、「今できることを」と考え、2009年の夏から、SAVE the BLUE プロジェクトをスタートさせました。この活動は2014年で6年目を迎え、沖縄の海から世界の海へと広がっています。

## 地球温暖化による海の生態系破壊

サンゴ礁には海の生物の4分の1が暮らしていると言われており、そこに棲む生き物たちにとって無くてはならない存在です。同時に、サンゴ礁は温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収する機能を持ち、人間である私たちにとってもかけがえのない大切な宝物です。しかし、沖縄本島付近の海のサンゴ礁は、温暖化による白化現象やオニヒトデの発生等が原因となり、10年前と比較すると10分の1程度に減少しています。このような状況が、沖縄の海も含めて地球規模で起こっています。

## 全国各地から集まるサンゴ大使

2012年に引き続き、沖縄で開催された「サンゴ留学」に、全国から選ばれた43名の美容スタッフが「サンゴ大使」として参加しました。温暖化による海の変化や、生態系を支えるサンゴの役割を学んだ上で、養殖するサンゴの株分けなどを体験し、SAVE the BLUEの活動への理解を深めました。「サンゴ大使」は全国各地に戻った後、お客さまや他のスタッフたちに、この経験で得たことをお伝えしていきます。



(左)株分けしてサンゴを増やしていく (右)サンゴの苗

## COLUMN

### 海がきれいになるスポーツ「クリーンピック」



クリーンピックに参加したサンゴ大使たち

クリーンピックは、海や山の清掃活動にルールと競技性を持たせ、誰でも楽しめるスポーツにしたものです。今回の「サンゴ大使」たちも「サンゴ留学」の一環として、クリーンピックに挑戦しました。「サンゴ」にちなんで「35分間」で、砂浜に捨てられた空き缶などの小さなものから、タイヤやエンジン、バイクといった大きなものまで多数のゴミを拾い集めました。「こんなに真剣にゴミを拾ったことがなかったので、すごく運動になった」「一見きれいな砂浜なのに、よく見ると大きなゴミが打ち上げられたり、埋もれたりしているのに驚いた」といった声があがっていました。

コーセーは、2014年5月に開催の「クリーンピック 全国大会2014 in沖縄」にも協賛しました。



## 雪肌精 SAVE the BLUE プロジェクトは6年目

夏のキャンペーン期間中、対象の雪肌精商品をお買い上げごとに、その底面積分のサンゴを植えつける費用を沖縄の有限会社「海の種」に寄付します。

対象期間 2014年7月1日～8月31日

対象商品 雪肌精シリーズ 化粧水・乳液(雪肌精 シュープレム、雪肌精 エクセレント含む)  
※ミニミニ除く

- 雪肌精 化粧水仕立て 石けん 雪肌精 ホワイトBBクリーム
- 雪肌精 サンプルテクト エッセンス(ジェル および ミルク)
- 雪肌精 シュープレム オイル 雪肌精 シュープレム パウダーファンデーション
- 雪肌精 シュープレム ホワイトニング リキッドファンデーション

プロジェクトがスタートした2009年以来、毎年確実にサンゴの森が広がっています。

年	植え付け面積	植え付け本数
2013年	11,769,657cm <sup>2</sup> 25mプール(375m <sup>2</sup> )の約3.1倍	1,929本
2012年	7,810,856cm <sup>2</sup>	1,031本
2011年	7,819,100cm <sup>2</sup>	1,282本
2010年	6,789,944cm <sup>2</sup>	1,085本
2009年	5,158,912cm <sup>2</sup>	972本
2009年-2013年累計	39,348,469cm <sup>2</sup> 25mプール(375m <sup>2</sup> )の約10.5倍	累計植え付け本数は、 6,299本へ

植えつけを行っているサンゴの森付近で産卵されたサンゴは、30kmほど離れた名護付近の海域まで流れているのが観察されており、本プロジェクトの広がりが見込まれています。(「海の種」のデータより)



(上) 販売店などで活動と呼びかけるポスター  
(下) キャンペーン期間中だけ特別デザインで発売

## 海外にも広がるSAVE the BLUEプロジェクト

2012年から、海外でも雪肌精を中心とした環境キャンペーン「SAVE the BLUEプロジェクト」を実施しています。2013年は4つの国と地域で行いました。

**中国**

雪肌精キャンペーンボトルの売上の一部を、NPO団体のGreen Life(緑色生命)に寄付しました。寄付金は、内モンゴルの砂漠の緑化を目的とした、苗木の植樹に活用されています。現地社員が植樹に参加するほか、希望するお客さまにも抽選でご参加いただきました。

**台湾**

墾丁国家公園が管轄する台湾南端の墾丁海岸の清掃と、国立海洋生物博物館が行うサンゴの増殖を支援しました。また、SAVE the BLUE活動の発表を行い、メディアを通じて広く環境活動の大切さを訴えました。

**シンガポール**

政府組織であるNational Parks Boardにおけるサンゴ保全の第一人者であるDr. James Guest氏への支援を行っています。2013年7月には、同団体の開催したFestival of Biodiversity(生物多様性フェスティバル)への協賛を行いました。

**マレーシア**

世界最大のサンゴ保全NGO組織で、海洋調査やサンゴの養殖活動を積極的に展開しているReef Checkのマレーシア支部へ寄付するなど活動を支援しています。2013年には東南アジア最大級の規模を持つミッドハレーメガモールで、寄付金の授与式を行いました。